

協会記事

平成17年4月26日(木)、旭川グランドホテルにおいて、第41回通常総会を開催し、平成16年度事業報告・決算報告および監査報告、平成17年度事業計画・予算および役員改選等について審議し、いずれも可決承認されました。それらの概要を報告します。

平成16年度事業報告および決算報告

I 平成16年度事業報告

1 会員の動向

年度当初250名であった会員数が年度末257名となり、7名の会員増となりました。

2 諸会議の開催

平成16年4月23日第1回理事会および第40回通常総会、平成17年2月22日第2回理事会を開催しました。

3 出版事業

機関誌「ウッディエイジ(木材の研究と普及)」を608号から619号まで月刊で発行しました。

4 講演会、講習会等の開催

平成16年4月23日の総会時において、(社)北海道森と緑の会理事長林芳男氏による特別講演「北海道の林業・林産業、そしてまちづくりについて」を開催しました。平成16年7月24日の「木のグランドフェア」オープニングイベントの一環として西川英明氏による講演「北の木と語る」を道立林産試験場と共催で実施しました。また、(社)日本木材加工技術協会北海道支部と共催で「木材乾燥講習会」を実施しました。そのほか、「2005木製サッシフォーラム」(主催：道立林産試験場、北海道木製窓協会)への後援、「第17回北の生活産業デザインコンペティション」(主催：北の生活産業デザインコンペティション実行委員会)への協賛を行いました。

5 受託事業

(1)道立林産試験場より「木と暮らしの情報館」に関わる「展示品維持管理業務」、「展示製品募集業務」、「製品展示企画設置業務」の3業務を受託しました。

(2)社団法人北海道林産物検査会より「保存処理構造用製材等の吸収量分析試験」を受託しました。

6 普及事業

(1)木製品普及事業

一般市民、学校等に対し、簡易な木工材料や木製品を提供しました。

(2)「木のグランドフェア」事業

平成16年7月24日から10月15日までの約3か月間、道立林産試験場と共催で「木のグランドフェア」を開催しました。期間中の入場者等は約3,000名でした。主な内容は次のとおりです。

①木になるフェスティバル～オープニングイベント～

オープン初日の7月24日(土)に、「おもしろ科学体験コーナー」「林産試験場試験棟見学会」、「木工工作体験コーナー」、「ベンチづくりコーナー」、などを催しました。

②オープン初日の講演会にあわせて「聞こえますか、「木」の息づかい」をテーマに「本田匡写真展」を開催し、8月22日まで「木と暮らしの情報館」で展示しました。

③第12回北海道こども木工作品コンクール

応募参加作品32校248点で、グランドフェア開催期間中、「木と暮らしの情報館」に展示しました。

④第4回アート彫刻版作品コンクール

応募作品5公民館85点で、グランドフェア開催期間中、「木と暮らしの情報館」に展示しました。

⑤北の木が生み出す音の世界展

グランドピアノの部材や内部模型などを、関連企業の協力を得て8月22日まで展示しました。

7 会員企業支援事業

「会員企業支援事業実施規定」(平成16年4月23日制定)に基づき、同事業を実施し、応募企業3社に対し助成を行いました。

8 国際交流事業

道立林産試験場が受け入れた海外研修員の道内視察等に対する支援を行いました。

II 平成16年度収支決算(単位:円)

収入の部		支出の部	
会費収入	4,845,250	公益事業費	3,753,321
公益事業収入	1,047,034	受託事業費	6,566,792
受託事業収入	9,489,016	公益事業管理費	7,772,562
特定預金取崩収入	1,500,000		
雑収入	1,239,823		
前期繰越金	6,897,934	次期繰越金	6,926,382
計	25,019,057	計	25,019,057

平成17年度事業計画および予算

I 平成17年度事業計画

1 諸会議の開催

平成17年4月26日、平成17年度第1回理事会および第41回通常総会を開催します。

2 出版事業

機関誌「ウッドエイジ(木材の研究と普及)」を月刊で発行します。

3 講演会、講習会の開催

第41回通常総会時に記念講演(ゆらぎ物産株式会社代表取締役真田俊一氏による「地方の活性化について」)、木のグランドフェア開催時に協会定期講演会(木工クラフト作家煙山泰子氏による講演会)を開催します。また、7月7～8日に「木材接着講習会」を実施します。

4 受託事業

(1)道立林産試験場より「木と暮らしの情報館」に関わる「展示品維持管理業務」、「展示製品募集業務」、「製品展示企画設置業務」の3業務を受託します。

(2)社団法人北海道林産物検査会より「保存処理構造用製材等の吸収量分析試験」を受託します。

5 普及事業

「木のグランドフェア」などの各種イベントを道立林産試験場と共同で開催し、木材利用の普及・啓発に努めます。

6 各種講演会、研究会、大会等への後援および協賛

北海道、道立林産試験場または各種団体が実施する事業で、当協会の趣旨に合致する事業に後援または協賛します。

7 会員企業支援事業

(1)協会会員が道立林産試験場に「依頼試験」を依頼した場合、依頼試験手数料の1/2(上限5万円)を予算の範囲内で補助します。

- (2)協会会員が道立林産試験場の設備を使用して使用料を納付した場合、使用料の1/2(上限5万円)を予算の範囲内で補助します。
- (3)協会会員が道立林産試験場に「現地技術指導」を依頼した場合、手数料の1/2(上限5万円)を予算の範囲内で補助します。
- (4)協会会員が当協会に対し、当協会委嘱の「技術アドバイザー」による現地技術指導等を依頼した場合、旅費交通費の1/2(上限5万円)を予算の範囲内で補助します。

II 平成17年度収支予算(単位:円)

収入の部		支出の部	
会費収入	4,740,000	公益事業費	4,385,000
公益事業収入	930,000	受託事業費	7,400,000
受託事業収入	9,000,000	公益事業管理費	6,523,000
雑収入	1,255,000	予備費	1,000,000
前期繰越金	6,926,382	次期繰越金	3,543,382
計	22,851,382	計	22,851,382

8 役員の改選について

本年度は役員改選期にあたります。平成17・18年度の役員が次のとおり選任されました。なお、これまで道立林産試験場長には顧問をお願いしておりましたが、諸般の事情により顧問就任の依頼は自粛することとしました。

社団法人北海道林産技術普及協会役員名簿(平成17・18年度)		
役職名	氏名	所属
顧問	三津橋 貞夫	北海道木材産業協同組合連合会代表理事会長
"	清水 晴夫	北海道森林組合連合会代表理事会長
"	宮島 寛	元北海道大学教授
会長	高橋 秀樹	昭和木材(株)代表取締役社長
副会長	秋元 紀幸	東北海道木材協会副会長
"	高原 郷	北日本木材(株)代表取締役社長
専務理事	丸山 武	(社)北海道林産技術普及協会
常任理事	相田 嗣郎	相田木材(株)代表取締役社長

協会記事

”	麻 生 繁	麻生木材工業(株)代表取締役社長
”	桑 原 義 彦	匠工芸(株)代表取締役社長
理 事	伊 藤 茂 喜	東邦木材工業(株)代表取締役社長
”	井 波 信 夫	(株)中原設計事務所代表取締役社長
”	上 坂 勝 司	上坂木材(株)代表取締役社長
”	久 保 武 司	久保木工(株)代表取締役社長
”	小 林 寿 男	当麻町森林組合代表理事組合長
”	鈴 木 隆	(社)北海道林産物検査会副理事長兼専務理事
”	和 田 修	サンモク工業(株)代表取締役社長
”	高 井 平 三	北海道集成材工業会会長
”	辰 巳 忠 雄	辰巳建設(株)代表取締役社長
監 事	野 田 正 宣	(株)コーエキ代表取締役社長
”	山 岸 宏 一	北海道東海大学芸術工学部くらしデザイン学科教授